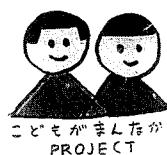


# 都私幼連だより

SEPTEMBER 9 2011



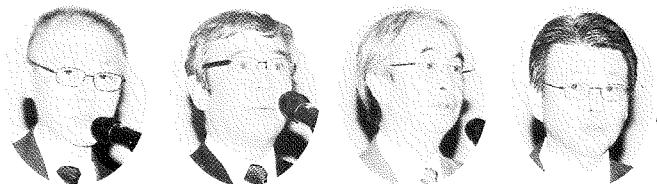
Kindergarten Information Development Society

## 東京都私立幼稚園連合会

編集発行人 北條泰雅 〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館別館 TEL03(3262)3666・FAX03(3264)6195



開会挨拶  
遠藤副会長



友松教研委員長 田中東京地区会会長 北條理事長 石井私学部長



永年勤続表彰・受賞風景



対談風景

中瀬幼稚園  
井口園長先生

(社)東京都私立幼稚園教育研修会(北條泰雅理事長)は7月25日・26日の両日、日本青年館(全体会)および私学会館(分科会)の両会場において表記の大会を開催しました。この研究大会は、全日本私立幼稚園連合会の東京地区会の大会として行われるもので、(財)私学研修福祉社会、全日本私立幼稚園連合会、(財)全日本私立幼稚園児教育研究機構、(公財)東京都私学財団後援など、私学・幼児教育関係団体が共に力を合わせて取り組んでいます。私立幼稚園の教育水準を示す大会となっています。今年度も全部で1100名余の先生方が参加し、研修の実を上げました。

遠藤剛之・都私幼連教育研究委員会担当副会長より「夏休み早々、110名に余る先生方が参加して頂き嬉しく思います」との言葉で開会式がスタート。はじめに、北條泰雅理事長から次のような挨拶がありました。

「夏休みになると浮かぶ俳句

平成23年7月25日・26日／日本青年館・私学会館

## 開会式

があります。『忙しさを楽しむ母や夏休み』

これは、大正から昭和にかけて活躍した『安部みどり女』という俳人110名に余る先生方が参加して頂き嬉しく思います」との言葉で、遠藤剛之・都私幼連教育研究委員会担当副会長より「夏休み早々、110名に余る先生方が参加して頂き嬉しく思います」との言葉で開会式がスタート。はじめに、北條泰雅理事長から次のような挨拶がありました。

「夏休みになると浮かぶ俳句

があります。『忙しさを楽しむ母や夏休み』

これは、大正から昭和にかけて活躍した『安部みどり女』といふ俳人が詠んだ句です。この『みどり女』のよくなお母さんが子どもを慈しんでくれれば、その子どもはどんなに幸せだろうと、この季節になると、肩肘張らずに楽しんでください。夏休みは旅行や趣味で見聞を広め、休みの素晴らしさや大切さを知り、その経験と今日、明日の成果をそれぞれの幼稚園で子どもたちのため活かしてください』そう述べてから、大震災の被害状況、被災者の義捐金の呼びかけ、子どもの最善の利益を守るキーワードなどを触れました。

次に、田中泰行・全日私幼連東京地区会会长より、香川敬・全日私幼連会長から託された祝辞が代読されました。

続いて、石井玲・東京都生活文化局私学部長から「私立幼稚園は幼児教育の中核的な存在としてこれまで大きな役割を果たしてきており、これからも幼稚園教育、私立幼稚園への都民の信頼は変わらないと思います。この研究大会でも

# 平成23年度「教育研究大会」開く！



### ③新任教諭研修会

平成23年7月13日／私学会館

## 「ひとりの社会人として輝くために」

《テーマ》

〔講師〕河村 都先生（オフィスカワムラ代表）  
「信頼される先生になるために」

河村先生は、ご自身の幼稚園教諭在任時代に感動したエピソードなどを交えながら、社会人としての心構えなどを中心にお話されました。

先ず、「皆さんはどうして働くのか?」「どのような先生になりたいのか?」と質問を投げかけ、働くことは自分自身の成長のためであり、理想の先生になる前に、社会人としてのマナーを身に付けることが大切であると述べられました。子どもたちは、いつも先生の振る舞いを見ていて、挨拶・表情・態度・身だしなみ・言葉遣いなど、常に見られていることを意識し、美しい振る舞いを心がけることが必要であると付け加えられました。そして、「報酬を得るといふことはプロであること」「職場の人間関係では、親しくなり

過ぎずに一線を引く」「ほうれんそう（報告・連絡・相談）」など、社会人として基本的な心得についても教えてくださいました。

研修の終盤では、向上心を持つことが自分の成長に繋がることや、目標を持つことの大切さを登山に例えて説きました。1年目の山を最後まで登りきること。そうすれば2年目の山、5年目の山といった次の目標の山が見えてくる。途中で下山ばかりしていると、どの山に行つても麓ばかり歩く人間になる。そう警告しつつ、最後に「皆さん、『感動できる幼稚園の先生』という職業に自信と誇りを持って、精一杯頑張って頂きたい」とエールを送られました。

広報委員：山崎 貴之  
(青鳩幼・葛飾区)

### ユニチカ・ニッケ・東レ 園児服・園帽・体育着



御一報次第カタログ進呈



ビーポップ印 園服・園帽・トレーニングウェア・カバン製造元  
株式会社 成増園服研究所  
東京都板橋区大山金井町43-1 TEL(03)3957-2176㈹

園舎のクリーニングはおまかせください!!

**Kawai Clean SAT**  
カワイクリーンサット

弊社は長年にわたり「健康教育」を企業理念として、**肝油ドロップ**を全国の園児の皆さんに、先生方のご理解のもと提供させて頂いております。その経験をいかし、より衛生的で健康的な保育環境を提供するクリーニング事業を手がけております。

先生方の手の届かない場所もおまかせください！

作業内容

- 床ワックス掛け ○トイレ洗浄
  - エアコン分解洗浄 ○厨房
  - 砂場抗菌処理 ○窓ガラス
  - カーペット ○その他お掃除全般
- ※お掃除全般のご相談・お見積は無料です。

プロならではの手際よさと、技術とノウハウを駆使した安全で有効なサービスをぜひ実感してください。

**肝油ドロップ** 発売元

河合薬業株式会社

〒164-0001 東京都中野区中野6-3-5

TEL. 03-3365-1156 FAX. 03-3365-1180

Kawai Clean SAT

## 「学校法人園宿泊研修会」報告

平成23年8月4日・5日／箱根宮ノ下「武藏野別館」

保一体化構想には絶対に反対

②「教育基本法」や「学校教育法」に位置付けられている学校教育としての幼児教育を堅持すべき

③「子ども園」という一つの形態に強制的に押し込むのではなく、家庭や地域の状況に応じ、幼稚園を含めた多様な選択を保障すべき、という3点でこれらの主張は今回まとめの中に反映されています。

しかし、克服しなければならない重要な論点がいくつも残されているので、今後とも政策形成プロセスを注視する必要があるということです。最終的にどうなるのか、まだ分かりませんが、幼児教育の質を確保できるような方向性を堅持して頂きたいと思います。



学法宿泊研修会が、本年度も箱根の

武藏野別館で行われました。

1日目は、「子ども・子育て新システムに関する中間とりまとめ」を受けて、こども園制度や私学助成の今後について、北條泰雅先生、入谷幸一先生にお話を頂きました。

「中間とりまとめ」に至るこれまでの課程で、両先生を含む幼稚園代表がワーキングチームで主張した主な点は、

①幼稚園制度の廃止を前提とした「幼

広報副委員長・池田 文子

(五ノ神幼・羽村市)

## 「中堅教諭宿泊研修会」報告

平成23年8月8日・9日／石和温泉「ホテル春日居」

を頂いた。

社会の変化に伴い、子どもや保護者のおかれた環境が変わってきたため、保育者が取り組むべき課題も多様化し、保育者の資質が重要となるということについて解説頂いた。



次は、ヒューマンプロデューサーの長谷川一彌先生。「中堅教諭として自らの資質を高める」と題し、子どものやる気や能力を引き出す方法から、子どもを見る視点、かかわり方のポイントについて、斬新な切り口でお話を頂いた。

最後は「体を動かそう～ヨーガで健康管理を～」ということで、インド政府NCTE認定ヨーガ教師・平野久仁子先生によるヨーガの指導があった。身体を動かしたり、リラックスさせたりの繰り越しを通して、自分自身の身体と心を整えることの大切さを教えて頂いた。

第2日目は、朝から分科会。経験2～3年のフレッシュ講座、3・4・5歳児、そして特別支援の五つの分科会に分かれ、活発な議論が行われた。他の園の教諭と話し合うことを通して、違いや共通点に気付かされたり、別の園にも同じ思いで保育をしている仲間がいることを知る良い機会となった。

第1日目は友松教育研究委員長の挨拶に始まり、基調講演は鎌倉女子大学短期大学部教授の岸井慶子先生に「いまと子どもの育ちを考える」と題してお話を頂きました。

広報委員・菅原 創

(江戸川双葉幼・江戸川区)

## 個人立園研修会

平成23年7月12日／私学会館

**テーマ 子ども・子育て新システムについて**

【講師】濱谷 浩樹 氏(文部科学省初等中等教育局幼児教育課課長)



を含め制度・財源・給付について一元的制度を構築するとしています。

### ●制度設計について

学校法人、社会福祉法人、株式会社、NPO等、多様な事業主体の参入を可能にする。ただし、安定的・継続的な運営を担保する観点から、法人格を条件とする。

### ●給付の一体化・子ども園給付の創設について

学校教育・保育にかかる給付の一體化した子ども園給付(仮称)を創設し、学校教育・保育にかかる財政措置に関する二元行政の解消および公平性の確保を図る。

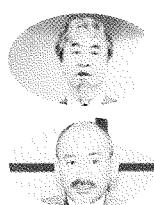
事業主・利用者それぞれが必要に応じた契約を結び、預かる時間や質改善による必要な水準の給付を、すべての子どもに保障する公定価格の導入など、気にかかる諸問題は多々あれど、国の中でも基本制度WTは基本制度案要綱ならびに今回のとりまとめを踏まえ、「社会保障・税の一体化改革成案」に基づき(平成23年6月30日)、国、地方および事業主の負担のあり方、利用者負担のあり方、既存の財政措置との関係など、費用負担のあり方、子ども・子育ての包括給付金のあり方、とあります。また、事業ごとに所管や制度、財源が様々に分かれている現在の子ども・子育て支援対策を再編し、幼保一体化

広報委員・鈴木 嘉一  
(宝陽幼・杉並区)

## 「幼稚園フェア」

平成23年7月31日／砂防会館大ホール「シェーンバッハ」

～ようちえんのせんせいになる～



職活動のポイント、就職試験の課題や注意点といった、かなり突っ込んだ」とまで幅広く交わされました。

一二目は、「園長と現役学生との懇談」で、壇上、学生数名と園長代表3名の質疑応答でしたが、『どういう人を採用したいか』『どこを見て採用するのか』面接のポイントは等々、園長諸氏が答えに窮するような質問が続出しました。



学生が「シンポジウムの視聴」をするパターンが確立して今回で4年目だそうですが、1千人を超える大学4年生や短大・専門学校の2年生たちが集まる大盛況の中で行われました。

まず、北條泰雅会長、小澤崇文経営委員長の挨拶があり、続いて二つのシンポジウムとなりました。

一つ目は「先輩と現役学生との懇談」で、壇上、現役学生数名と現役教員代表3名による質疑応答でした。幼稚園教諭を志望した理由から始まって、就

ともあれ、このような大規模の催しを企画・準備・実施された経営委員会の方々のご努力に敬意を表します。大変お疲れ様でした。

広報委員・加藤 壮大  
(鶴ノ木幼・大田区)

放射線は、正しい知識で「恐れず」「侮らず」

正しく怖がることも  
大切

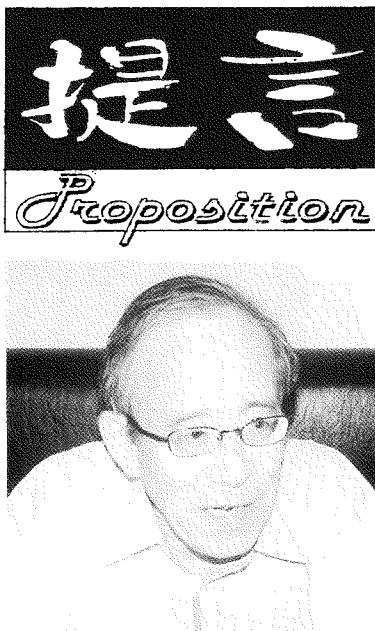
——先生は原子核反応、放射線測定などのご専門と伺つております。今回の大地震と津波は福島第一原子力発電所に致命的な打撃を与え、今も先の見えない状況が続いています。専門家の方々の説明も人によつて違つてゐるようで、どれが正しいのか混乱してしまいます。言葉なんかも、放射線とか放射性物質、あるいは放射能などと使い分けられているようですが、よく分かりません。単位にしてもシーベルト、ベクレルあるいは「放射性セシウムが検出された」などといふ耳慣れない言葉や数字がテレビや新聞でやた

**柴田** 放射線は目に見えないだけに、よく分かっていないと不安や恐怖が高まるのは当然でしょう。また扱い方を誤れば健康にも影響がでてきます。放射線を「正しく知り」危険から身を守るためにも、放射線独自の言葉を知つておくことは必要だと思います。

「放射線」の強さや量を測る場合、何を測るかでいろいろな単位が使われます。例えばシーベルトとかグレイなどがありますが、最も多く用いられているのがシーベルトです。これは放射線を浴びた時に人間が受ける影響の強さを示すものです。人体への影響を測る場合「100ミリシーベルト」を一つの目安と考えることができる。

ルトは「放射線の人体に対する影響を表わす単位」ですが、ベクターは食品や水などに含まれる放射性物質の「放射能の量」を表わす単位です。グレイは放射線を受けた物体に吸収されたエネルギーの量」を示します。セシウムといふのは、軟らかくて黄色がかった銀色のアルカリ金属のことです。放射性セシウムは、原子炉の中でウランの核分裂で生じます。放射性セシウムなどの放射性物質が漏れた際に健康リスク

私の家は東京ですが、3月半ばに福島原発から大量に放出されたゼシウムとヨウ素の付着した微粒子が風に乗って東京を通り抜ける際に雨とともに降り、沈着したわけです。屋根から種などを使つて落ちてくる場所の周辺の数値は当然高くなります。放射性物質の相対的な数値を測れる検出器がありますから一度測つておくと良いと思います。一度測れば十分ですから。ベータ



日本原子力研究開発機構  
J—PARCセンター客員研究員  
東京大学名誉教授・理学博士

# 柴田徳思 (しばた とくし) 先生

1941年東京生まれ。1965年千葉大学自然科学科卒業後、大阪大学大学院物理学専攻博士課程を修了。同大学院講師、助教授等を経て1988年東京大学原子核研究所教授に就任。1997年高エネルギー加速器研究機構放射線科学センター長、2005年日本原子力研究開発機構特別研究員等を歴任後、現職に至る。【専門分野】素粒子・原子核・宇宙線・原子力学等。【主な研究テーマ】原子核反応・放射線測定・加速器放射線防護等。

できます。だからといって、この数値より多いと危険、少ないから安心などということでもありません。メリットが大きければ自安を超えて受け入れていいし、100ミリシーベルトよりも少なくて、リセットがなければ控える」とが肝要です。

て、いる園もあるようです。こうい  
う保護者にはどう対応すればよ  
ろしいのぢょうつか。

**柴田** 放射性物質は細かい粒子に付着して花粉同様に風に乗つて飛散し、拡散していくります。細かい粒子は雨とともに降りますし、海に放出されれば海中を移動しながら拡散していきます。

クをもたらす可能性があります。

放射線を侮つてはいけませんが、正しく対応すれば恐れる」とはあります。逆に「正しく怖がる」

線は人体の外側から照射しても表面付近で止まるので、中には入りませんから心配することはあります。ガンマ一線は人体に入ります。これは身体のなかで電子を跳ね飛ばし、この電子が人体に影響を及ぼします。この影響をシーベルトの単位で測定するわけですが、安い線量計では正確な値を図ることはできません。正確に測るには制度の高い線量計が必要です。50～60万円くらいしますので、東京都とか市などの自治体に都私幼連が交渉して、幼稚園が測りたい時に貸し出すというのも一つの方法ではないでしょうか？

### 正しく測つて 正しく伝える

**柴田** 今は、放射性物質は空中を飛んでいませんから一度で十分です。以前に降った雨で屋根とか土に付着して残っていて、そこから放射線が出ているだけです。現在、新宿で0.06マイクロシーベルトだったということですから、この程度の数値ならす。問題にするような数値ではありません。放射性物質が、ずっと沈着しま続いている大丈夫だというこ

とですか？

**柴田** この程度の量であれば、健康には全く影響はないです。

所がない。土に大きな穴を掘つて周りに粘土層を敷いて固め、

いのです。でも、今の状況ではその心配はありません。ただガンにならぬ確率がちょっとだけ高くなる程度です。

疲れなどと一緒にになって排出されてしまいますが、空間線量率が高くなれば全く問題にはなりません。現状では、心配するほどのことはないでしょう。

セシウムは筋肉に入りますが、ヨウ素は甲状腺に取り込まれます。日本人は海藻類を結構食べていますから、ヨウ素の取り込みが抑えられていて、東京でのレベルであればその影響は小さいと言えます。

放射性物質が溜まっている場所、例えば屋根から雨が伝い落ちてくる場所の周辺とか、水が流れ溜まる位置などをマイクロ単位まできちんと測れる線量計で計った数値を示して、「うちの幼稚園は〇〇マイクロシーベルトですか」と心配ありません」と保護者に言えるようにしてお話し出すといふのも一つの方法ではないでしょうか？

周辺の住民は当然反対するでしょう。総理大臣クラスが土下座してでも場所を確保して、早く処理しないと大変なことになりますから、それでも、そろそろ置きスベースが必要になりますから、に穴を掘るわけにもいきません。限界がくるはずです。相当大きなスペースが必要になりますから、それでも、そろそろ置きスベースにも

何らかのガンで亡くなるのは30人と言っています。この事故のために余分に被ばくした量が200ミリシーベルトだとすると一人増え、31人の確率になるということです。20ミリシーベルトの放射線を50年間浴び続けて、1シーベルトに達するわけですから、その数値で言えば、ガンで死亡する人が5人増加するということになります。何れにしても死亡確率が僅かでも増えることは断じてあつてはならないことですから、心して取り組むことに変わりはありません。

——最後に、「脱原発」については、どうお考えでしょうか？

**柴田** 私としては「脱原発」に行けば、その方が良いとは思っています。しかし石油や天然ガスを燃やすことには地球温暖化への懸念もあり、化石燃料の消費を増す方向には賛成するわけにはいきません。風力とか太陽光などの再生エネルギーを総合的に駆使するアイディアもありますが、何れも未知数ですからね。日本の経済が小さくならずに活性できるにはどうするか…まだ暫く時間がかかるのではないかでしょ？

——ありがとうございます。

☆インタビュー=広報委員・菅原創(江戸川双葉幼・江戸川区)



## 都私幼連の動き

[7月]

- 7/4 正副会長会・常任理事会・理事会  
広報委員会  
7/5 P連編集会議  
経営研究委員会  
7/7 ③幼稚園教育研究会  
7/12 P連役員会  
個人立園研修会・全体会・懇親会  
7/13 ③新規採用教員研修会（河村 都）  
7/14 就職セミナー（東京家政大学）  
7/25(月)～26(火) 教育研究大会  
【25日/日本青年館ホール・26日/私学会館】  
7/26 (社)理事会  
7/27(水)～29(金) ①新規採用教員宿泊研修会  
（水上ホテル聚楽）  
7/31 幼稚園フェア（砂防会館）

[8月]

- 8/4(木)～5(金) 学校法人園宿泊研修会  
（箱根宮ノ下「武藏野別館」）  
8/8(月)～9(火) 中堅教諭宿泊研修会  
（石和ホテル春日居）  
8/10 経営研修担当小委員会  
8/11 ⑤幼稚園教育研究会（大和郷幼稚園）  
8/22(月)～24(水) ②新規採用教員宿泊研修会  
（水上ホテル聚楽）  
8/25 広報委員会  
8/30 P連座談会  
8/31 振興議員連盟役員会（京王プラザホテル）  
振興対策委員会  
正副会長会（京王プラザホテル）

## [今月]

- 9/2 正副会長会・常任理事会・理事会  
予算要望（都議会）  
9/7 教育研究委員会  
9/9 個人立協議会運営委員会  
9/13 参加型公開保育（春光幼・世田谷区）  
P連委員研修会（中村博志）  
9/14 ①★保育課題研修会（庄司康生）  
9/16 経営研究委員会  
①園長・主幹研修会（秋田喜代美）  
9/26 P連編集会議  
9/27 地区長会  
宗教法人立園研修会（大下正人）  
9/29 ②★保育課題研修会（吉野邦夫）  
広報委員会

## 自園派？他園派？

新小岩ちぐさ幼稚園（葛飾区）  
事務主任 井元 紀行

「心の教育」それが当園の教育理念である。初代園長からの教育理念で、変わらず子どもたちの心の成長を願って教育を行ってきました。

「心の教育」とは、個々の子どもにある様々な心に、個別かつ平等に対応することで、興味・関心・根気・社会性を育み、「生きる力」として今後の人生をより幸せにする努力ができる子にする教育です。

さて本来は、「心の教育」や「生きる力」に対する意見を述べるのが理想なのでしょうが、問題が生じました。我が子が就園間近になりました。大問題です。どうやら我が子は幼稚園に就園できそうなのですが、自分の園にすべきか、他の園にすべきか。

様々な意見をまとめると、自園派の方は、①自園が理想の教育ならば自園に入れるのが当然 ②自園に入れないと信用にかかる ③子どもの成長を身近に見ることができる、といった意見がありました。

他園派の方は、①公平に接することは難しい ②教職員がプレッシャーを感じる ③子どもが違和感を持つ、といった意見をもらいました。

当園では前述したような教育理念のもと、日々努力をしています。変わらぬ子どもに変化する環境、教育とは終わることのない探求であり、皆さまも日々ご苦労されていることと思います。でも、一番環境に影響されやすいのは大人であり、保護者であります。幸運にも我が子の問題で、保護者としての考え方や求めるものを深く考える機会を得ました。この大切な時期を思いつきたくさん悩み、今後の活動に繋げていければと思います。

皆さまは「自園派」  
それとも「他園派」ですか？



◆ 夏休みに「一人前の社員の新ルール」（明日香出版社）という本を購入した。1年目の先生の課題図書にと思い購入したのだが、人に読ませる前にまず自分が、といふことで読んでみると、本には「学ぶ姿勢を見せる」「人のせいでも自分が考える」など、101も自分が考える」という欄で、読んでみると、中でも自分がある「理想のルールが書かれていて、中でも目に留まったのが「理想の上司を求めて時間を無駄にするな」というルール。「自分の長所を見抜き、伸ばしてくれる上司に巡り合う」という偶然ともいえる出会いを求めてはいけない。そんなことに時間を費やすのではなく、今の環境で自分を生かすことを考へる」というもの。◆ 幼稚園フェアでは、会場は約千人のリクルート姿の学生で埋め尽くされ、その表情は真剣そのもの。本当に盛況ぶりだ。学生は、これからが就職活動の本番。最も表情は真剣そのもの。本当に近の学生は、これまで採用された学生が、理想の上司を求めて時間を無駄にしなくて済むように、と思つた夏休みでした。（二葉）

◆ 夏休みに「一人前の社員の新ルール」（明日香出版社）という本を購入した。1年目の先生の課題図書にと思い購入したのだが、人に読ませる前にまず自分が、といふことで読んでみると、本には「学ぶ姿勢を見せる」「人のせいでも自分が考える」など、101も自分が考える」という欄で、読んでみると、中でも目に留まったのが「理想の上司を求めて時間を無駄にするな」というルール。「自分の長所を見抜き、伸ばしてくれる上司に巡り合う」という偶然ともいえる出会いを求めてはいけない。そんなことに時間を費やすのではなく、今の環境で自分を生かすことを考へる」というもの。◆ 幼稚園フェアでは、会場は約千人のリクルート姿の学生で埋め尽くされ、その表情は真剣そのもの。本当に盛況ぶりだ。学生は、これかからが就職活動の本番。最も表情は真剣そのもの。本当に近の学生は、これまで採用された学生が、理想の上司を求めて時間を無駄にしなくて済むように、と思つた夏休みでした。（二葉）

